

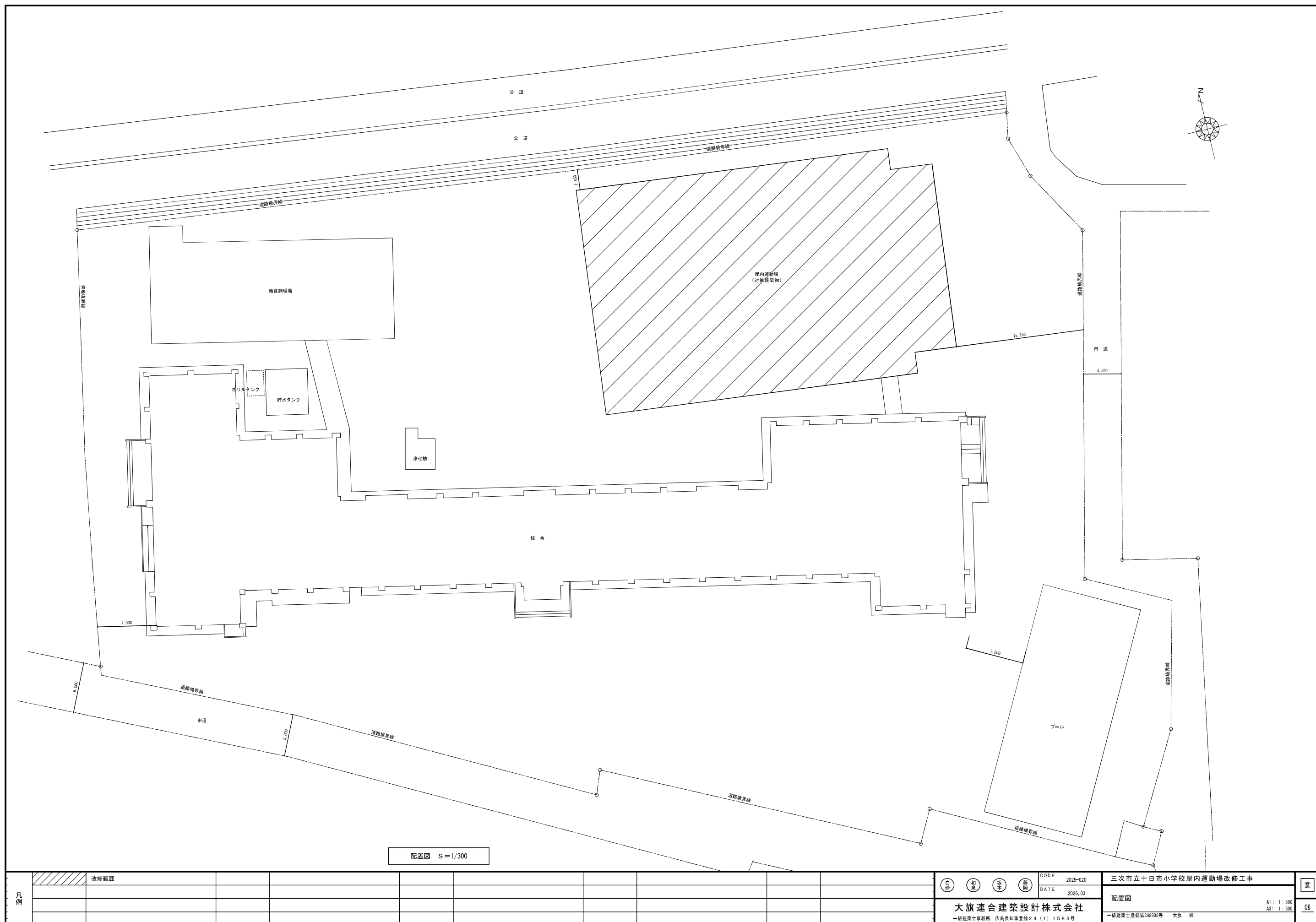
[illegible]

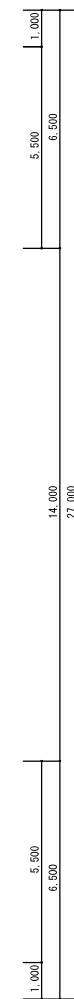
6	内装改修工事	既製調合モルタル [4. 2. 2]	・既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、湿和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 6章 既製調合モルタルによる 6章 既製調合モルタルによる 6章 既製調合モルタルによる ・接着剤による陶磁器質タイル張り	6	内装改修工事	2.0セルフレベリング材張り [6. 1. 7. 2. 3]	2.1軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2～4]	2.2軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3] [表6. 7. 1]	2.3壁紙張り [6. 1. 4. 2. 3]	⑤仕上げ塗料塗り [7. 4. 2 ～7. 1. 4. 2]	⑧環境配慮改修工事	8	外断熱改修工事 [9. 3. 2～4] [9. 5. 2～4]	⑨断熱材 断熱材の種類(), 断熱材の厚さ(mm) 施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外	⑩外装材 種類 防火性能 備考	既存外壁の処置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部がある場合の改修工法 ※4章外装改修工事による	⑪工法 通気層の有無 ・あり(mm) ・なし 断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取り付け ※断熱材製造所の仕様による ※断熱材及び外装材製造所の仕様による 1章1.7適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 ※適用する ・適用しない	⑫断熱ガラス・建具表参照 品種 断熱性 日射熱減へ性 厚さ ・断熱複層ガラス ・1種 U1 ・図示 ・2種 U2 ・ ・3種 ・U3～1 ・U3～2	⑬断熱・防露改修工事材 [9. 5. 2～4]	⑭断熱材現場溶接工法 断熱材の種類 ※A種 1 ・A種 1 H 収付厚さ (mm) ・2.5 ・3.0 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・図示
			・既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、湿和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 品質性能等 保水率：70％以上 単位容積質量：1.8kg/L以上 接着強さ：標準時 0.4N/mm ² 以上、温冷繰り返し後 0.4N/mm ² 以上 長さ変化率：0.2％以下 曲げ強さ：4.0N/mm ² 以上 試験方法 イ) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り返しりより量より換算し、所定量の試料とする。 繰り返しは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の9.1に規定する繰り返し機を使用し、繰り返しに用いた水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り返しで試料とする。 ロ) 保水率 JIS R3202「フロード板ガラス及び吹き板ガラス」に規定するみが板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上にJIS P3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5ろ紙(直径11cm)のせ、その中央部に真ちゅう製リング型わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰め込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。40分後にろ紙べにじみ出した水分の広がり幅が最大と認められた方向とこれに直交な方向の長さをもギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率＝50/平均値×100 (注) 50：リング型わくの内径 mm ハ) 単位容積質量 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 ニ) 標準時の接着強さ 1. 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板厚＝300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「陶磁器質タイル」に規定する外装モザイクタイルで乾式成形の1種(彫ゆう)「50角ユニットタイル(外りの寸法300mm300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80％以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の9.7接着試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、エポキシ樹脂接着剤で割製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜く。 (全てが0.6N/mm ² 以上) 2. 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」の附属書B(規定)及び推奨仕様B-1に規定する普通平板厚＝300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「陶磁器質タイル」に規定する外装モザイクタイルで乾式成形の1種(彫ゆう)「小口タイル100mm90mm912mm」を4枚3列、計12枚を圧着する。 その後、28日間、温度20±2℃、湿度80％以上の状態で温湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 ホ) 温冷繰り返し後の接着強さ (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」の7.10温冷繰り返し試験に準じて行う。 (試験の手順)は、試験体を20±2℃の水中に16時間浸せきした後、直ちに－20±2℃の恒温槽中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温槽中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰り返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び剥れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。 (全てが0.4N/mm ² 以上) ヘ) 長さ変化率 JIS A203「セメント湿和用ポリマーディスページョン及び再乳化粉体樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 ト) 曲げ強さ JIS A6916「建築用下地調整塗材」7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 (品質・性能) 保水率 35.0%以上 長さ変化率 0.2%以下(収縮) 保水率 50%以上 単位容積質量 1.8kg/L以上 (試験方法) (1) 試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5％RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 (2) 試料の調整 正味質量と標準繰り返しりより量より、1.0～1.2Lの試料を繰り返し上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の繰り返し混ぜ水を計算して用意する。繰り返し混ぜは、JIS R 5201「セメントの物理試験方法」10.1に規定する繰り返し混ぜ機を使用し、繰り返しに用いた水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間繰り返し混ぜて試料とする。 (3) 保水性(ろ紙法) JIS R 3202「フロード板ガラス及び吹き板ガラス」に規定する吹き板ガラス(縦100mm、横200mm、厚さ5mm)の上にJIS P 3801「ろ紙(化学分析用)」に規定する5ろ紙(直径18.5cm)のせ、その中央部に真 鍍製リング型 わく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、2)で繰り返し混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙べにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直交な方向の長さをもギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。保水率(%)＝50/平均値×100 (mm) 注) 50：リング型わくの内径 (4) 単位容積質量 (2)で繰り返し混ぜた試料を、JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の9.3に規定する方法で求める。 (5) 長さ変化率 (2)で調製した試料を用いてJIS A 1171の7.6長さ変化率試験に従って行う。 (6) 吸水率 (3)で調製した試料を用いてJIS A 1404「建築用セメント防水剤の試験方法」10.1に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。																	

大連連合建築設計株式会社	CODE 2025-020 DATE 2026.03	三次市立十小中学校屋内運動場改修工事	意
	改修工事特記仕様書 4		
大連連合建築設計株式会社 一級建築士事務所 広島県知事登録2.4(1)1584号		一級建築士登録第348906号 大坂 祥	04

[illegible]

工 事 区 分 表							設計図による他、下記を工事区分とする。（○印を適用する。） 区分は ㊦ 印か、㊧ 印のない場合は※印のついたものを適用する。但し疑義が生じた場合には、事前に質疑応答書をもって確認すること。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
分類	工 事 区 分 ・ 内 容						建築	電気	機械 空調衛生	別途	備考	分類	工 事 区 分 ・ 内 容						建築	電気	機械 空調衛生	別途	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
① 共 通	○ 工事用電力、下水道、ガス引込工事（引込負担金を含む）	※					※					⑤ ビット・マンホール・水槽等	・ 湧水、蓄熱槽等の水槽の躯体断熱層、内外の防水及び仕上	※																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											





1階平面図 S=1:100

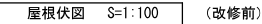


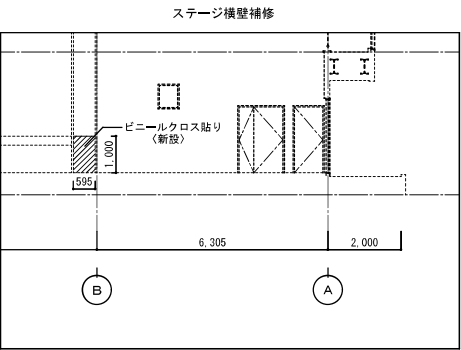
垂直飛び測定器







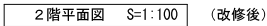
吊繩 (L=6400 5本) ・ 吊棒 (L=6400 5本)

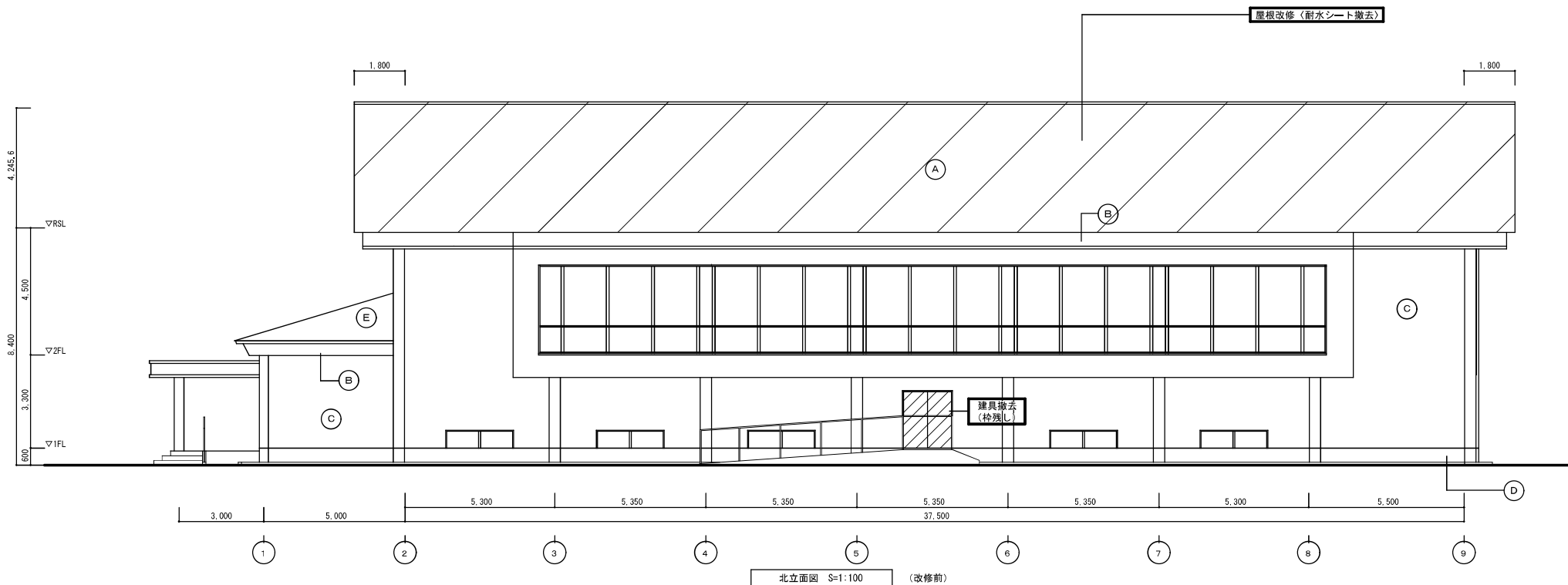
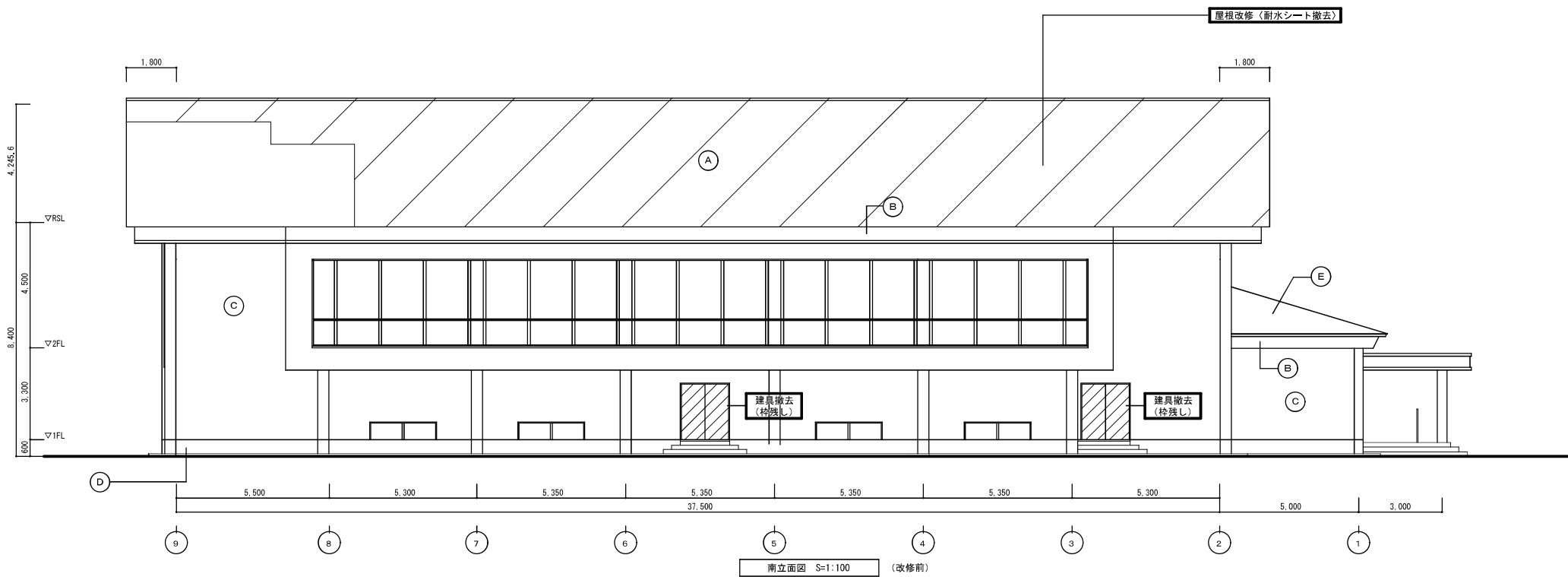
[illegible]


[illegible]

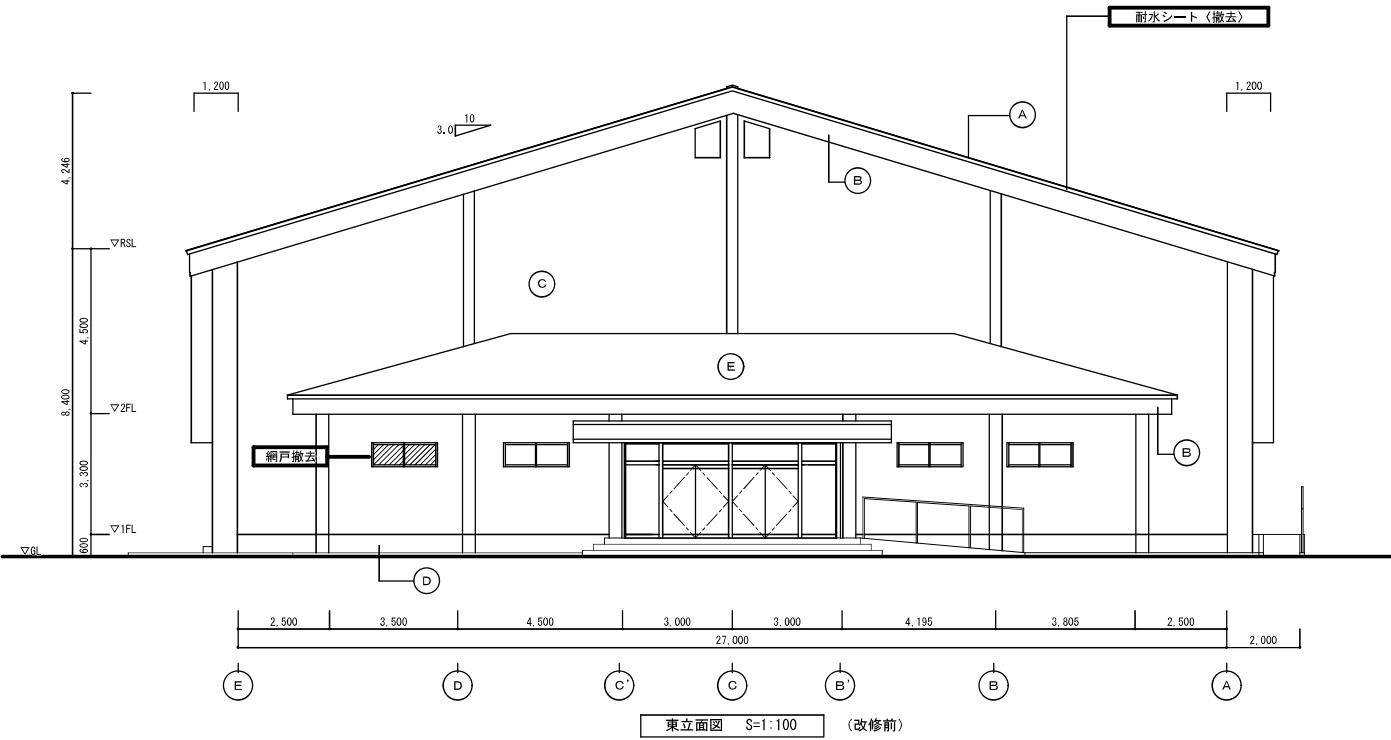
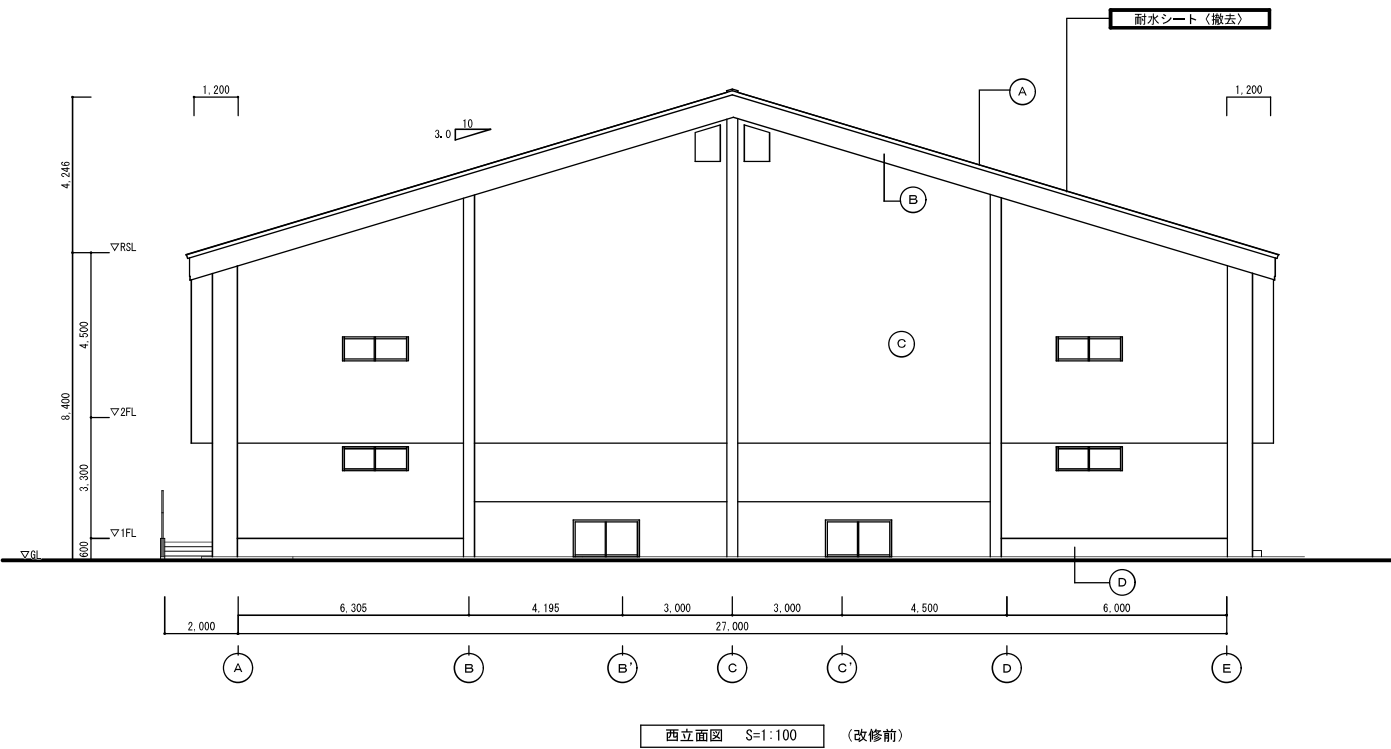


凡例		新設建具（カバー工法）									<div> <div>白砂</div> <div>和泉</div> <div>堀本</div> <div>藤岡</div> </div> <div>CODE 2025-020</div> <div>DATE 2026.03</div> <div>三次市立十日市小学校屋内運動場改修工事</div>
		新設建具									
		改修建具									
		新設範囲									

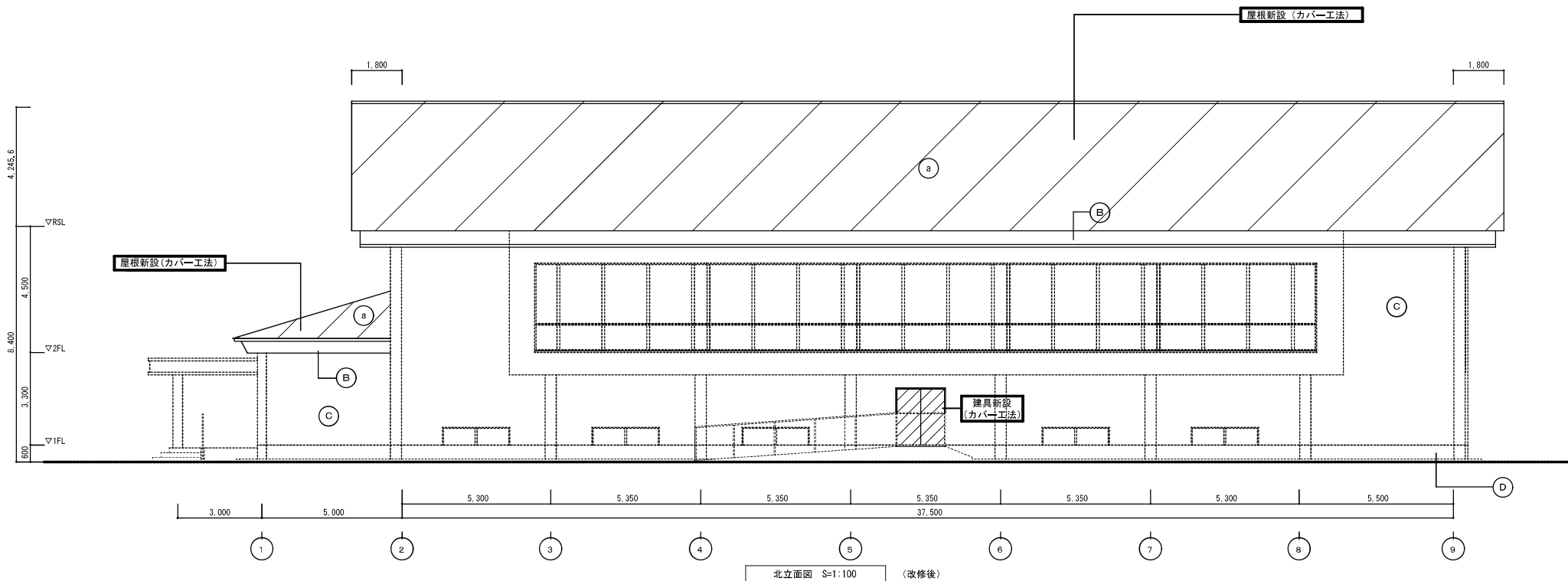
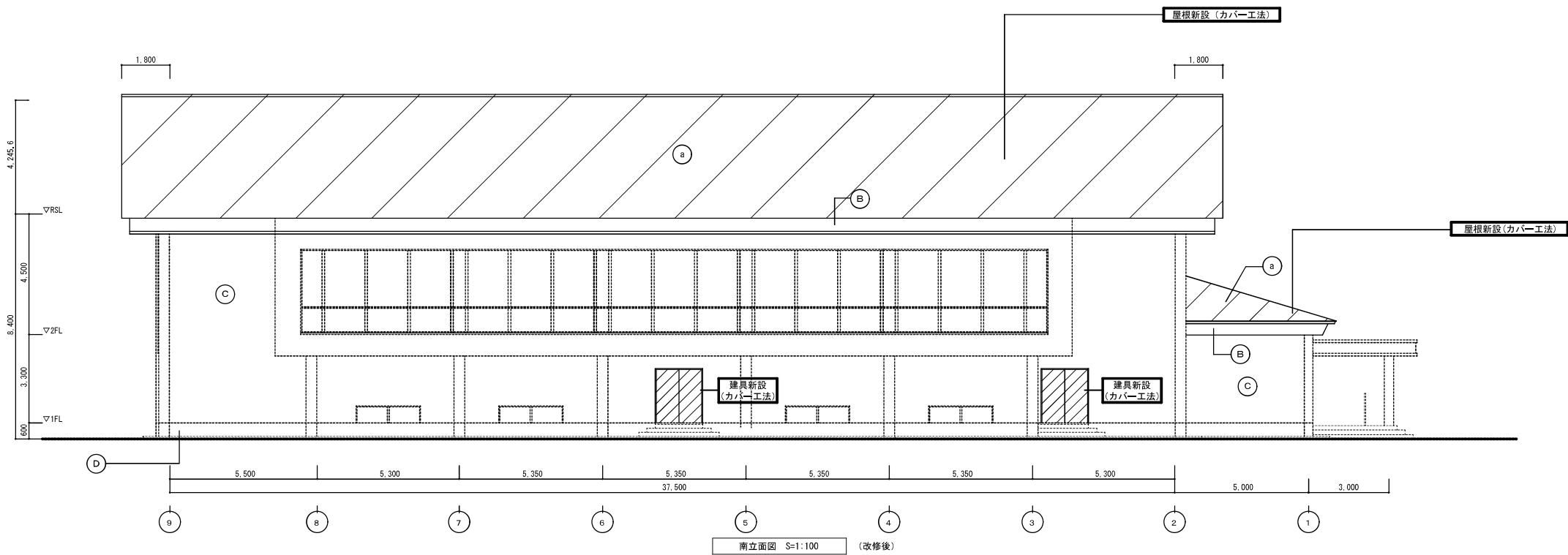
[illegible]



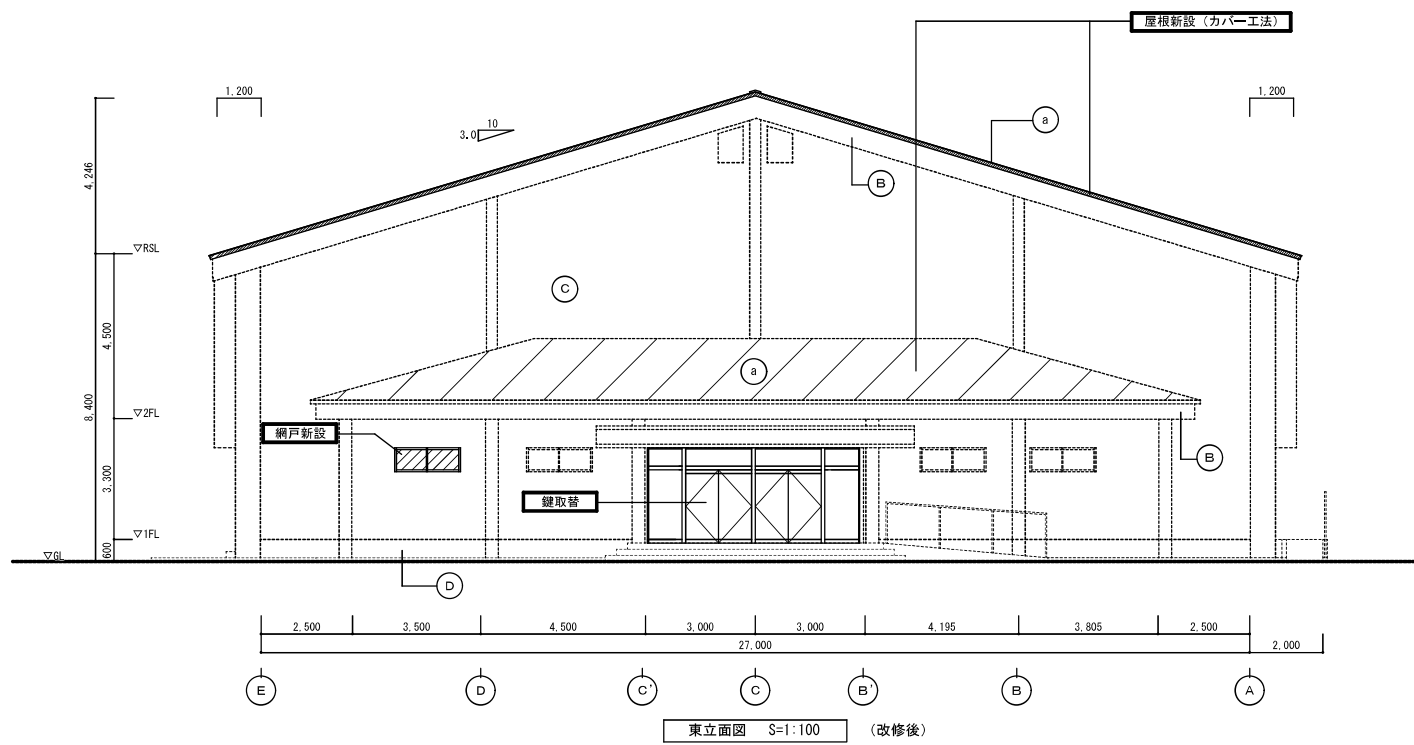
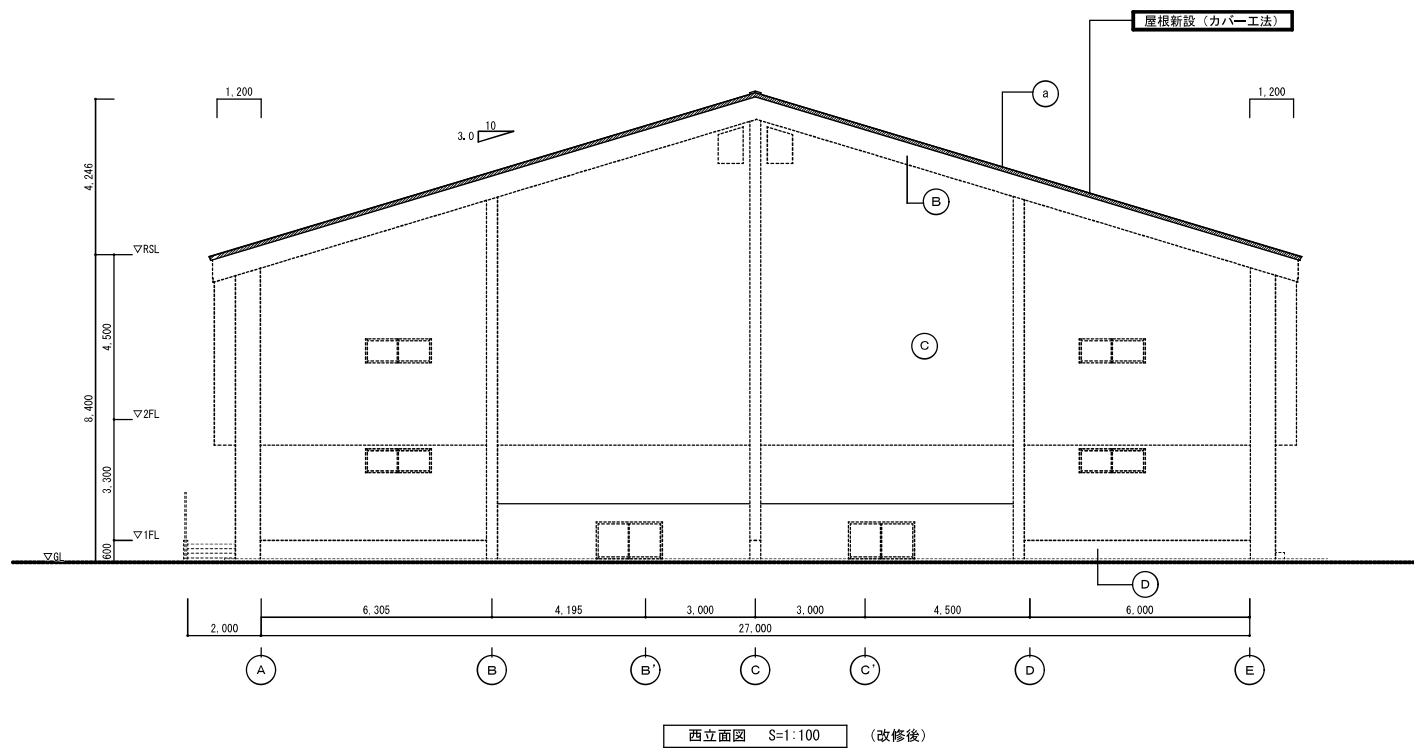
凡例	(A)	フッ素樹脂鋼板t=0.4←文字書きの上耐水シート張り (耐水シートt=0.62撤去)	(E)	フッ素樹脂鋼板t=0.4←文字書き		撤去範囲	<div>白砂</div> <div>和泉</div> <div>坂本</div> <div>藤間</div> <div>CODE 2025-020</div> <div>DATE 2026.03</div> <div>大旗連合建築設計株式会社</div> <div>一級建築士事務所 広島県知事登録24 (1) 1584号</div>	三次市立十日市小学校屋内運動場改修工事	<div>意</div> <div>15</div>
	(B)	スチールライトN加工取付				南、北立面図 (改修前)		A1: 1:100 A3: 1:200	
	(C)	ALC板シーラー処理の上セラタイル吹付け				一級建築士登録第348906号 大旗 祥			
	(D)	モルタル塗り セラタイル吹付け							



凡例	(A)	フッ素樹脂鋼板t=0.4←文字葺きの上耐水シート張り (耐水シートt=0.62撤去)	(E)	フッ素樹脂鋼板t=0.4←文字葺き		撤去範囲	 白 和 坂 藤 大旗連合建築設計株式会社 一級建築士事務所 広島県知事登録24 (1) 1584号	CODE 2025-020 DATE 2026.03 三次市立十日市小学校屋内運動場改修工事	意
	(B)	スチールライトN加工取付							
	(C)	ALC板シーラー処理の上セラタイル吹付け							
	(D)	モルタル塗り セラタイル吹付け							
西、東立面図 (改修前)							A1: 1:100 A3: 1:200	16	



凡例	(A)	フッ素樹脂鋼板t=0.4→文字書きの上防水シート	(E)	フッ素樹脂鋼板t=0.4→文字書き	(a)	カラーガルバリウム鋼板t0.4（新設）	<div>白砂</div> <div>和泉</div> <div>坂本</div> <div>藤間</div> <div>CODE 2025-020</div> <div>DATE 2026.03</div>	三次市立十日市小学校屋内運動場改修工事		<div>意</div>
	(B)	スチールライトN加工取付（既設のまま）						南、北立面図（改修後）		
	(C)	ALC板シーラー処理の上セラタイル吹付け（既設のまま）				新設範囲		A1：1：100 A3：1：200		
	(D)	モルタル塗り セラタイル吹付け（既設のまま）						一級建築士登録第348906号 大旗 祥		
							大旗連合建築設計株式会社			17
							一級建築士事務所 広島県知事登録24（1）1584号			



凡例	(A)	フッ素樹脂鋼板t=0.4→文字葺きの上防水シート	(E)	フッ素樹脂鋼板t=0.4→文字葺き	(a)	カラーガルバリウム鋼板t0.4 (新設)	<div>白</div> <div>和</div> <div>坂</div> <div>藤</div> <div>大旗連合建築設計株式会社</div> <div>一級建築士事務所 広島県知事登録24 (1) 1584号</div>	<div>CODE 2025-020</div> <div>DATE 2026.03</div> <div>三次市立十日市小学校屋内運動場改修工事</div> <div>西、東立面図 (改修後)</div> <div>一級建築士登録第348906号 大旗 祥</div>	意
	(B)	スチールライトN加工取付 (既設のまま)							
	(C)	ALC板シーラー処理の上セラタイル吹付け (既設のまま)				新設範囲			
	(D)	モルタル塗り セラタイル吹付け (既設のまま)							

改修工事特記仕様書（5章 建具改修工事）

[illegible]

符号 数量	AW-1	1	SD-1	2	SD-2	3	SD-3	2	SSD-1	1			
設置箇所	1 F 女子便所		1 F ホール		1 F 屋内運動場		1 F 器具庫		1 F 玄関				
姿 図	<div><改修> </div>		<div><撤去 (特残し)> </div>		<div><撤去 (特残し)> </div>		<div><改修> </div>		<div><改修> </div>				
F : 固定窓を示す。													
建具名称	引き違い窓		両開き戸		両開き戸		両開き戸		ランマ付両開き戸				
材料・仕上	アルミ、シルバー		スチール		スチール		スチール (再塗装 : SOP塗装)		ステンレス				
見 込			100		100		100						
ガラス	型ガラス		—		—		—		透明ガラス t 10				
金 物	クレセント、付属金物一式		H, PB, CP, DC, F, 付属金物一式		H, PB, CP, DC, F, 付属金物一式		H, PB, CP, DC, F, 付属金物一式		FH, PB, CP, 付属金物一式				
備 考	網戸						PB, CP, DC, F取り替え		CP取り替え (2力所)				
符号 数量	WW-1			1	WD-1		2	WD-2	1	WD-T-1	1	WD-T-2	1
設置箇所	1 F 器具庫 (ステージ下)				1 F 男子便所、女子便所			1 F 屋内運動場		1 F 男子便所		1 F 女子便所	
姿 図	<div></div>				<div><撤去> </div>			<div><改修> </div>		<div><撤去> </div>		<div><撤去> </div>	
F : 固定窓を示す。													
建具名称	8枚引き違い戸				片開き戸			親子開き戸		トイレブース		トイレブース	
材料・仕上	木製 (特:SOP塗装)				木製			木製 (再塗装 : 特:SOP塗装 原:クリアラッカー)					
見 込													
ガラス	—				—			—		—		—	
金 物	付属金物一式				H, PB, DC, 付属金物一式			H, PB, CP, DC, F, 付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備 考					枠に付属している戸当りと扉を撤去			PB, CP, DC, 取り替え					
符号 数量	SD-1	2	SD-2 (両側)	2	SD-2 (北側)	1	WD-1	2	WD-T-1	1	WD-T-2	1	
設置箇所	1 F ホール		1 F 屋内運動場		1 F 屋内運動場		1 F 男子便所、女子便所		1 F 男子便所		1 F 女子便所		
姿 図	<div><新設 (カバー工法)> </div>		<div><新設 (カバー工法)> </div>		<div><新設 (カバー工法)> </div>		<div><新設> </div>		<div><新設> </div>		<div><新設> </div>		
F : 固定窓を示す。													
建具名称	両開き戸		両開き戸		両開き戸		片開き戸		トイレブース		トイレブース		
材料・仕上	スチール, SOP (板厚 t 1.6)		スチール, SOP (板厚 t 1.6)		スチール, SOP (板厚 t 1.6)		木製 枠:SOP塗装 扉:クリアラッカー仕上		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		
見 込	100 40		100 40		100 40		40		40		40		
ガラス	—		—		—		—		—		—		
金 物	H, PB, CP, DK, F, T 付属金物一式		H, PB, CP, DCS, F, J 付属金物一式		H, PB, CP, DC, F, 付属金物一式		H, LH, DC, T, 付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		
備 考							木製細線は存置		三和シャッター : セレブースTW40-P同等品		三和シャッター : セレブースTW40-P同等品		
符号 数量													
設置箇所													
姿 図													
F : 固定窓を示す。													
建具名称													
材料・仕上													
見 込													
ガラス													
金 物													
備 考													

白

和

坂

藤

大旗連合建築設計株式会社

一級建築士事務所 広島県知事登録24 (1) 1584号

CODE2025-020

DATE2026.03

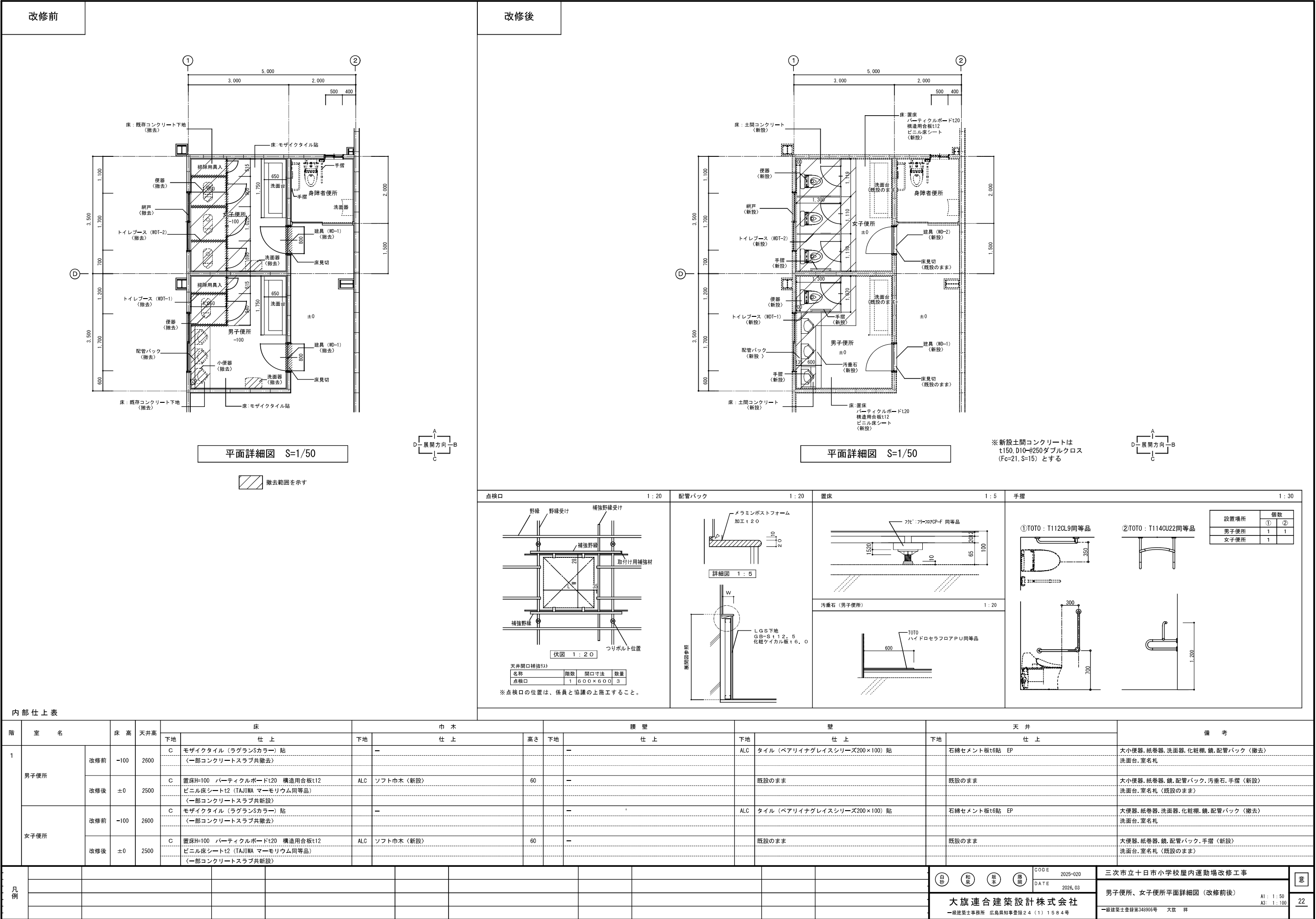
三次市立十日市小学校屋内運動場改修工事

建具表 (改修前後)

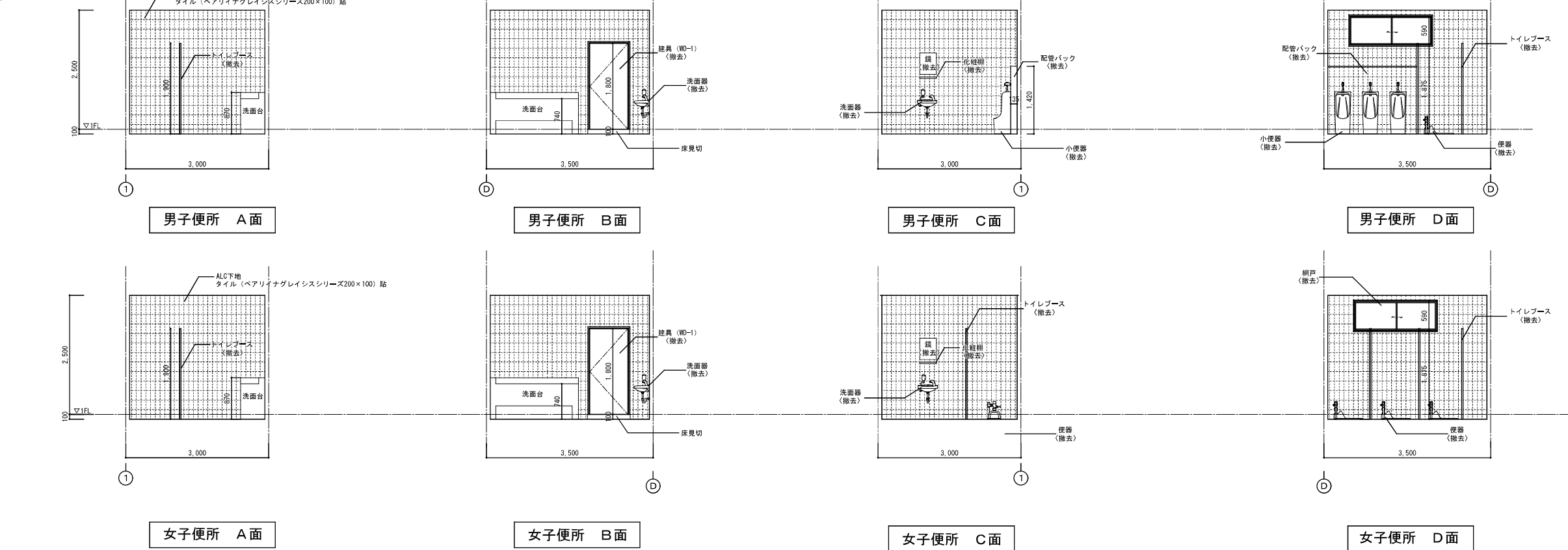
A1: 1:100
A3: 1:200

一級建築士登録第348906号 大旗 祥

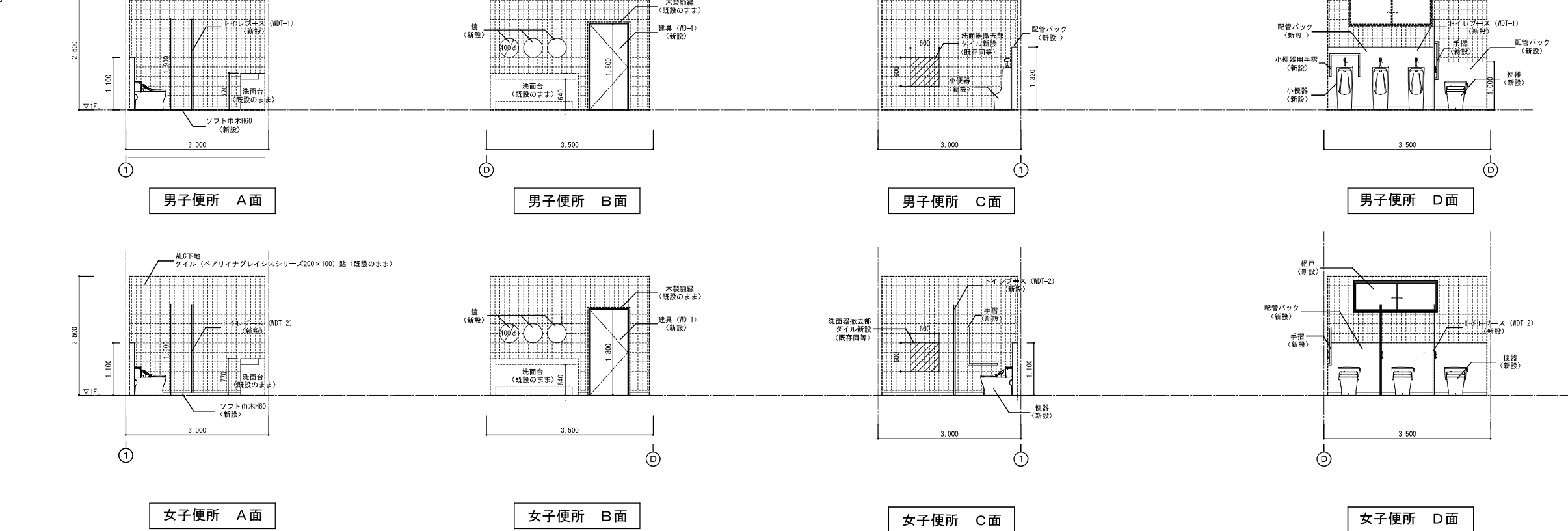
意21

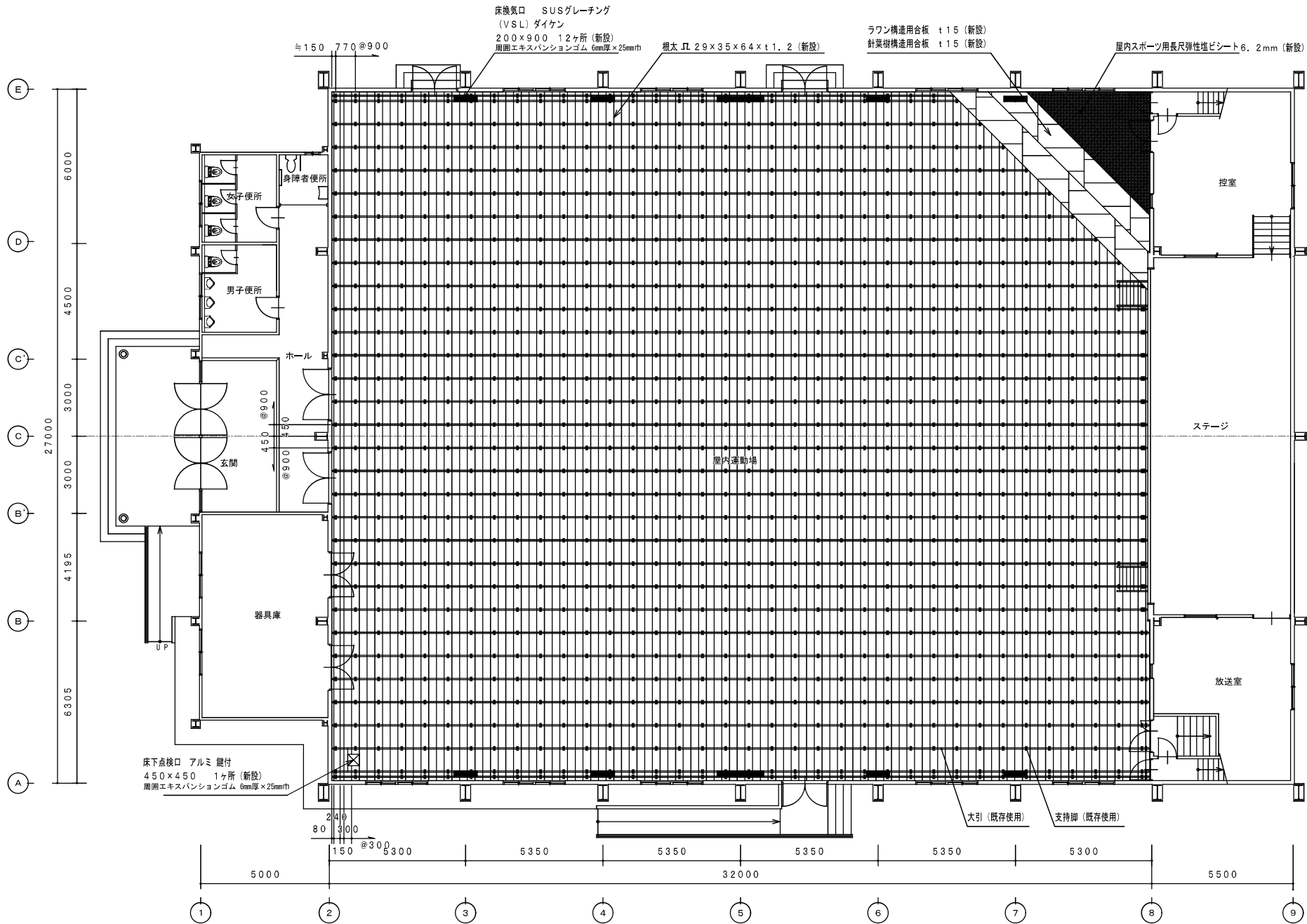


改修前



改修後





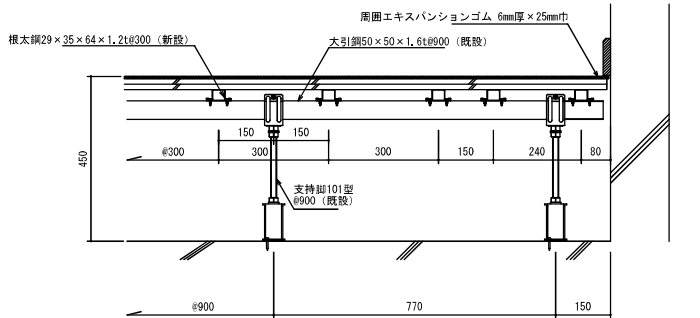
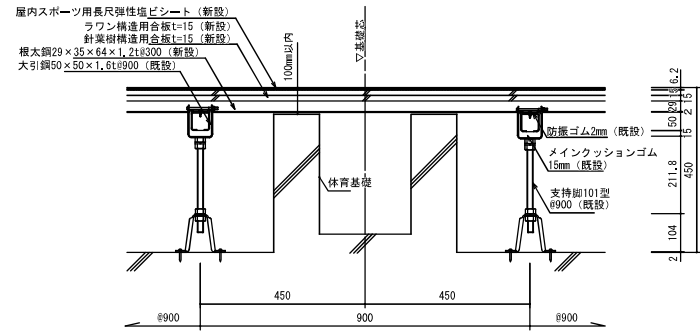
室名	床仕上材仕様
屋内運動場	屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート クリヤマジパン タラフレックスt.6.2同等品（新設） グラスファイバークロス層入りとする ノンワックス、フリーメンテナンスの製品とする クリヤマジパン（株） Taraflex Multi-Use 6.2mm厚以上同等品とする ラワン構造用合板 t.15（新設） 針葉樹構造用合板 t.15（新設）

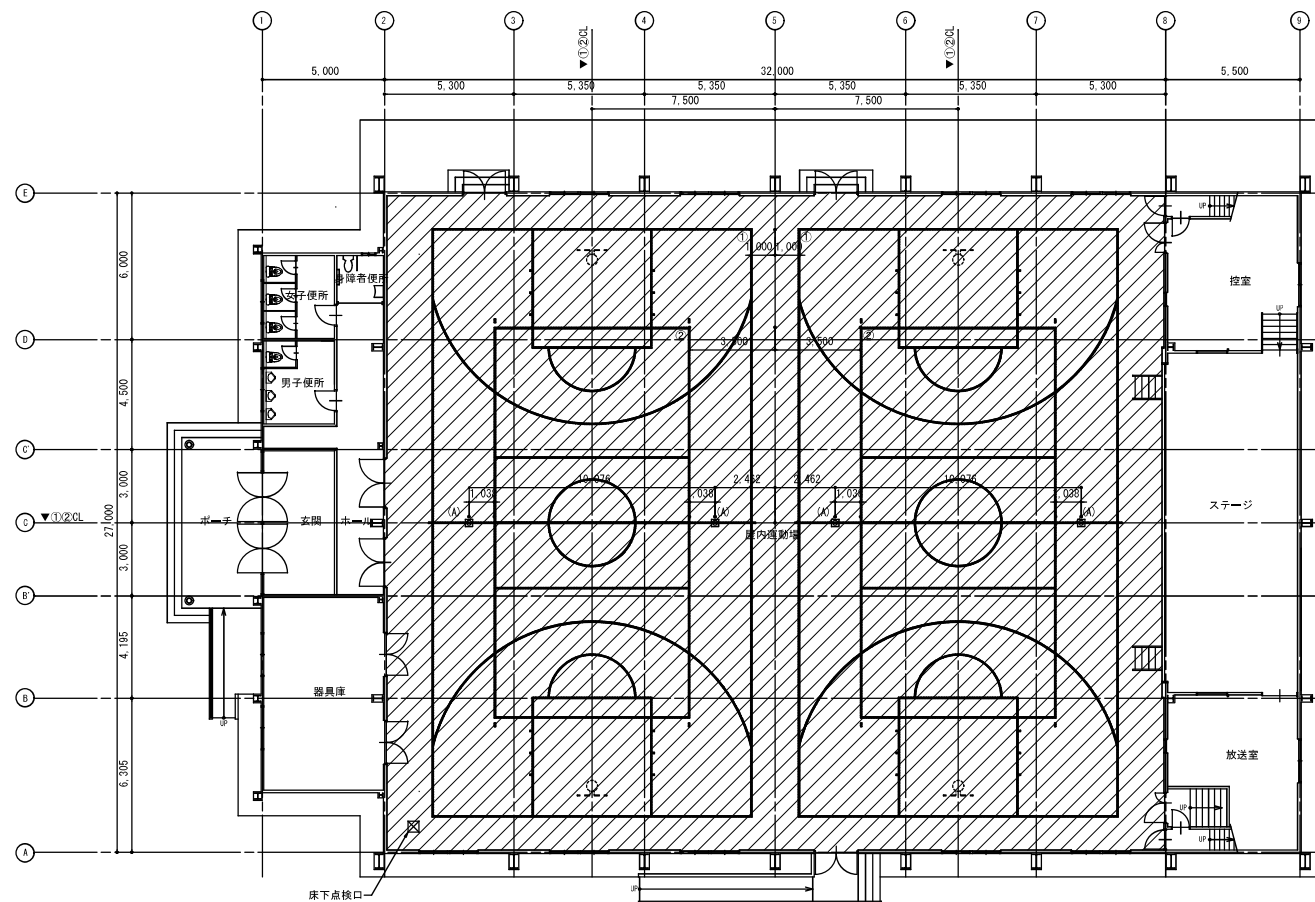
室名	鋼製床下地仕様
屋内運動場	根太 JL 29×35×64×t.1.2（新設） 大引（既存使用） 支持脚（既存使用）

室名	その他仕様
屋内運動場	床換気口 SUSグレーチング（VSL）ダイケン 200×900 12ヶ所（新設） 床下点検口 アルミ 鍵付 450×450 1ヶ所（新設）

※既存根太撤去後
仕上材仕様を確認の上
仕上高さに合わせて支持脚のレベル調整を行う事

※出入口部、ステージ前：エクスパンションゴム6×25
※巾木部：飲み込み 隙間3mm

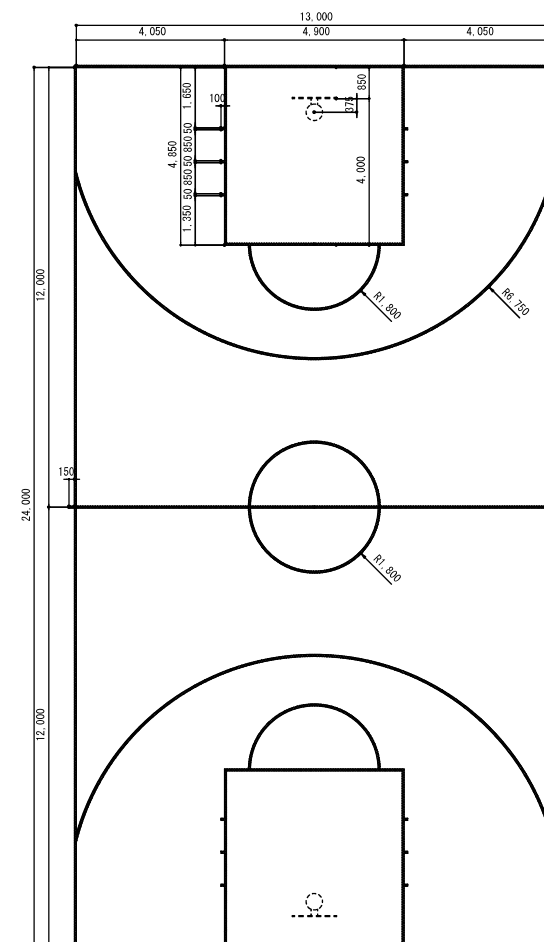




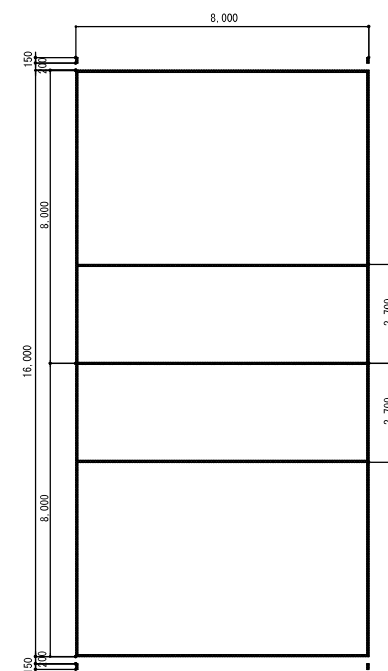
表記	床下基礎	数量
⊙ (A)	バレーボール用	4 個

※ミニバスケットボールはラインの内～内で計測し、バレーボールは外～外で計測します
※ラインが交差する箇所は、12mm程度のクリアランスを設けます

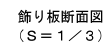
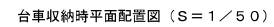
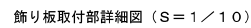
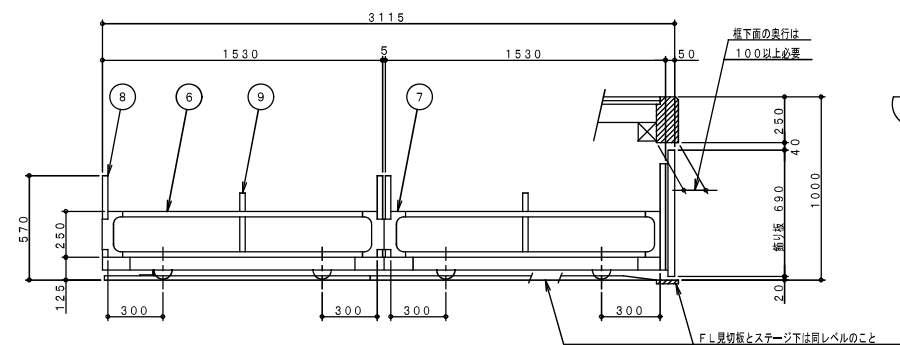
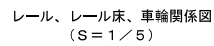
	種 別	寸 法	面数	色	線種	線幅	優先順位
①	ミニバスケットボール	24,000 x 13,000	2面	黄	実線	50mm	1
②	バレーボール(6人制VU+FF65小学生)	16,000 x 8,000	2面	赤	実線	50mm	2



	種 別	寸 法	面数	色	線種	線幅	優先順位
①	ミニバスケットボール	24,000 x 13,000	2 面	黄	実線	50mm	1

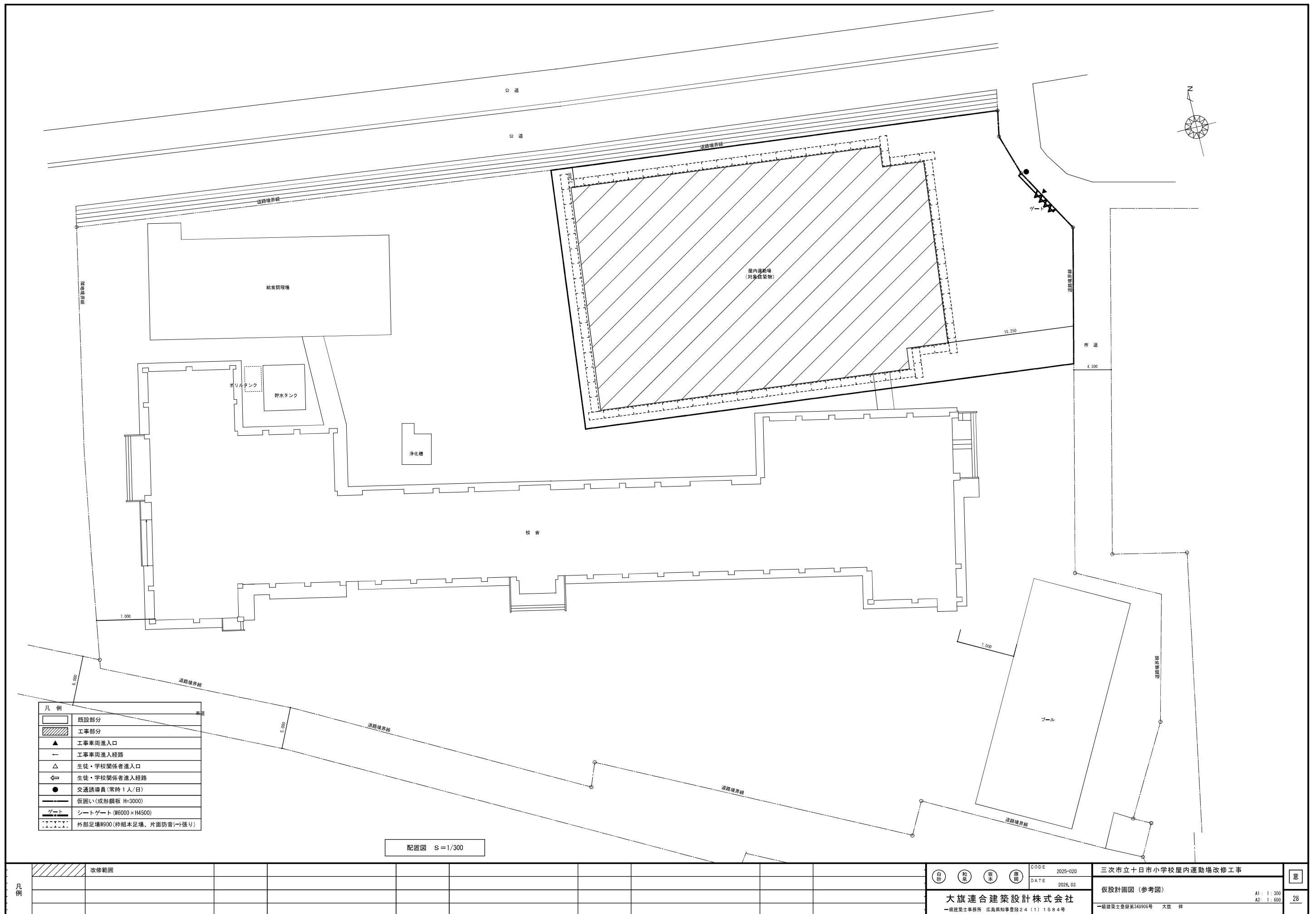


	種 別	寸 法	面数	色	線種	線幅	優先順位
②	バレーボール(6人制WJ+FF65小学生)	16,000 x 8,000	2面	赤	実線	50mm	2

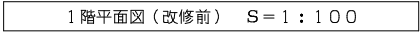


備 考	
1	製作数 10列 10軸 (フジトラックFTT-1T-3000L同等) 椅子収納台車
2	レールの製作及び取付工事はこの設備に含みます
3	篩り板の製作及び取付調整はこの設備に含みます
4	レール下地 (モルタル+30mm合板) はこの設備より除外とします
5	椅子収納数 60脚/列 (10列分=600脚)
6	但し椅子の厚みは約50mmとして計算

建築工事
・レール設置部床仕上工事

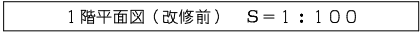


[illegible]



[illegible]





I. 工事概要等

1. 工事場所
三次市十日市中四丁目9番1号

2. 建物概要

建物の名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令第表第1の区分	備考
屋内運動場	鉄筋コンクリート造	地上2階	1197.96	7項	既存

3. 工事種目

(○印の付いたものを適用する)

建築物及び屋外工事種別	工事項目	区分別
・空気調和設備		
・換気設備		
・排煙設備		
・自動制御設備		
①衛生器具設備	改設一式	
②給水設備	改設一式	
③排水設備	改設一式	
・給湯設備		
④消火設備	改設一式	
・ガス設備		
・厨房設備		
・浄化槽設備		
・雨水利用設備		
・特殊ガス設備		
・電気設備工事	電気設備工事の部による	
・建築工事	建築工事の部による	

4. 指定部分

※無し ・有り(工期令和年月日)
対象部分:

5. 設備概要

(改修の場合は既存の概要を示す。)

空調方式等	主要熱源	機器
・空気調和(・パッケージ方式 ・ファンコイルユニット・ダクト併用方式) ・単一ダクト方式 ・各層ユニット方式	・空気加熱ヒートポンプユニット ・マルチパッケージ形空気調和機 ・パッケージ形空気調和機 ・ガスインジェヒートポンプ式空気調和機 ・チリングユニット ・吸収冷凍温水機 ・吸収冷凍温水機ユニット	・銅製ボイラー ・鋼鉄製ボイラー ・温水発生機(・真空式 ・無圧式)
換気設備	・1種換気 ・2種換気 ・3種換気	
排煙設備	・機械排煙(・有 ・無) 適用法規(・建築法 ・消防法)	
自動制御設備	・自動制御方式(・電気式 ・電子式 ・デジタル式)	
衛生設備	給水方式 ・水道直結 ⑤高置タンク ・ポンプ直送 ・水道直結増圧	排水方式 建物内の汚水と雑排水(・合流 ・分流) ポンプ排水 ・有(・汚水 ・雑排水 ・湧水) ⑥無し
放流水先	汚水 ⑦直接下水管 ・浄化槽 雑排水 ⑧直接下水管 ・浄化槽 ・側溝 ⑨別途樹	排水槽 ・有(計画容量： m ³) ⑩無し
給湯設備	・有(・局所式 ・中央式) ・無し 熱源(・電気 ・都市ガス ・液化石油ガス ・灯油 ・A重油)	
消防設備	⑪屋内消火栓 ・連絡送水管 ・屋外消火栓 ・スプリンクラ ・消防用水 ・泡消火 ・連結放水装置 ・粉末消火装置 ・不活性ガス消火(・窒素 ・フード等簡易型自動消火装置) ・ハロゲン化物消火	
ガス設備	・都市ガス 種別 MJ / m ³ N) ・液化石油ガス	
備	浄化槽設備 ・有(・合併処理 ・小規模合併処理) ⑫無し	

II. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁営繕部の標準仕様書等による。ただし、①印の付いたものを適用する。
②公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版(以下「標準仕様書」という。) ・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和7年版(以下「改修標準仕様書」という。)

③公共建築設備工事標準単(機械設備工事編) 令和7年版(以下「標準単」という。)

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は、①印の付いたものは ※印を適用する。ただし、①印のない場合は ※印を適用する。
②印 ③印の場合共に適用する。

区分	項目	特記事項
一般	①施工図等	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
共	2.保安規定	中国地方整備局制定の営繕工事事業用工作物電気保安規程(・適用 ・準用)する。
通	③施工条件	現場説明書による。
事	④工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を、監督職員に提出すること
項	⑤発生材の処理等	引渡しを要するもの ・有(・機器類 ・金属類) ※S1.建設廃棄物の処理も確認すること 特別管理産業廃棄物 ・有(・配管用保温材) 再生资源化を図るもの ・無し 石綿含有設備資材(ガスカート、パッキン、たわみ継手等は関係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するもの以外は構外搬出適切な処理とする。 撤去資材等(石綿類を含む)の撤去・処分費 ※本工事 ・別途工事 フロン、臭化リチウム液、残留処理の搬出・処分費 ※本工事 ・別途工事

Ⅵ.環境への配慮

1) 国等による環境物品等の調達推進法に関する法律(グリーン購入法)に基づき特定した「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。

2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、平板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材料、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びビスフェノールを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放出量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤は、可塑性(フルタル酸ジメープリル及びフルタル酸ジエーテルヘキシル等を含まない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
③①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスフェノールの発生が少ないか、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする。

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 別表〜1に示す機材等を使用する場合は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承認を受ける。ただし、①から⑥すべての事項を評価された事実を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。

⑧図形表示

⑨容量等の表示

1.1. 技師士の適用

1.2. 化学物質の濃度測定

1.3. インバーター用制御及び操作盤

⑩総合運転調整

15. 弁類

16. 伸縮兼継手

17. 防振継手

18. 絶縁継手

19. スリーブ

20. 開閉流量計

2.1. 配管の建物導入部

2.2. ステンレス配管の接合法

⑬ビニル管の接合法

2.4. ポリエチレン管の接合法

2.5. 溶接配管の検査

2.6. 異種管の接続

2.7. 支持金物・固定金具

2.8. 埋設表示

2.9. 保護

消磁差込みは ※ HDZT49 ・ HDZT70
標準仕様書によるほか図示の箇所について行う。
1) 屋内露出(一般居室、廊下)の外装は ※ A1 ・ A2
2) 冷媒管の保温外装は
屋内露出 ・合成樹脂カバー(A1・I・O・V I)
・保溫化粧ケース(耐候性樹脂製)
・ステンレス鋼板(E2・I・O・V I)
・保溫化粧ケース
・耐腐蝕樹脂板
屋外保温化粧ケースの材質 ・高耐久鋼板 ・ステンレス鋼板
・高耐久鋼板(溶融亜鉛めっき)
3) 標準仕様書以外で多温箇所の適用(・ ※無し)とする。
4) 全熱交換機の機器外側ダクト(・ ※給気側 ・排気側外壁より 1m) は、保温(25mm厚)する。
5) 厨房用排気ダクトの断熱(隠れ部)
・ I・I・I・X 又は h・I・I・X ・行わない。
6) 共同溝の保温種類は(・ 配管 : ・ダクト : ・)とする。

Ⅶ.塗装

下部部分を除き、原則として塗装(標準仕様書第2編3、2による)を行う。
亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分、金属電線管、鋼製階段及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管、カラー亜鉛鉄板、亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面、樹脂コーティング等を行ったもので、常時隠ぺいされる部分アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板、合成樹脂製等に、特に塗装の必要を認められない。埋設されるもの。(ただし、防水塗装部分を除く)
塗装を施さない部分・箇所 ※倉庫 ・車庫 ・駐車場
ただし、残りネジ頭及びパイプレンチのチャック跡部の断面は、さび止めペイントを塗り直す。
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあつては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
・内部足場(※ A、B、C、D種 ・ E種 ・ F種 ・ G種)
・外部足場(※ D、E種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ F種)

3.1. 足場

⑭工事用電力、水、その他

3.3. 監督職員事務所

3.4. 工事用仮設備

3.5. 土工事

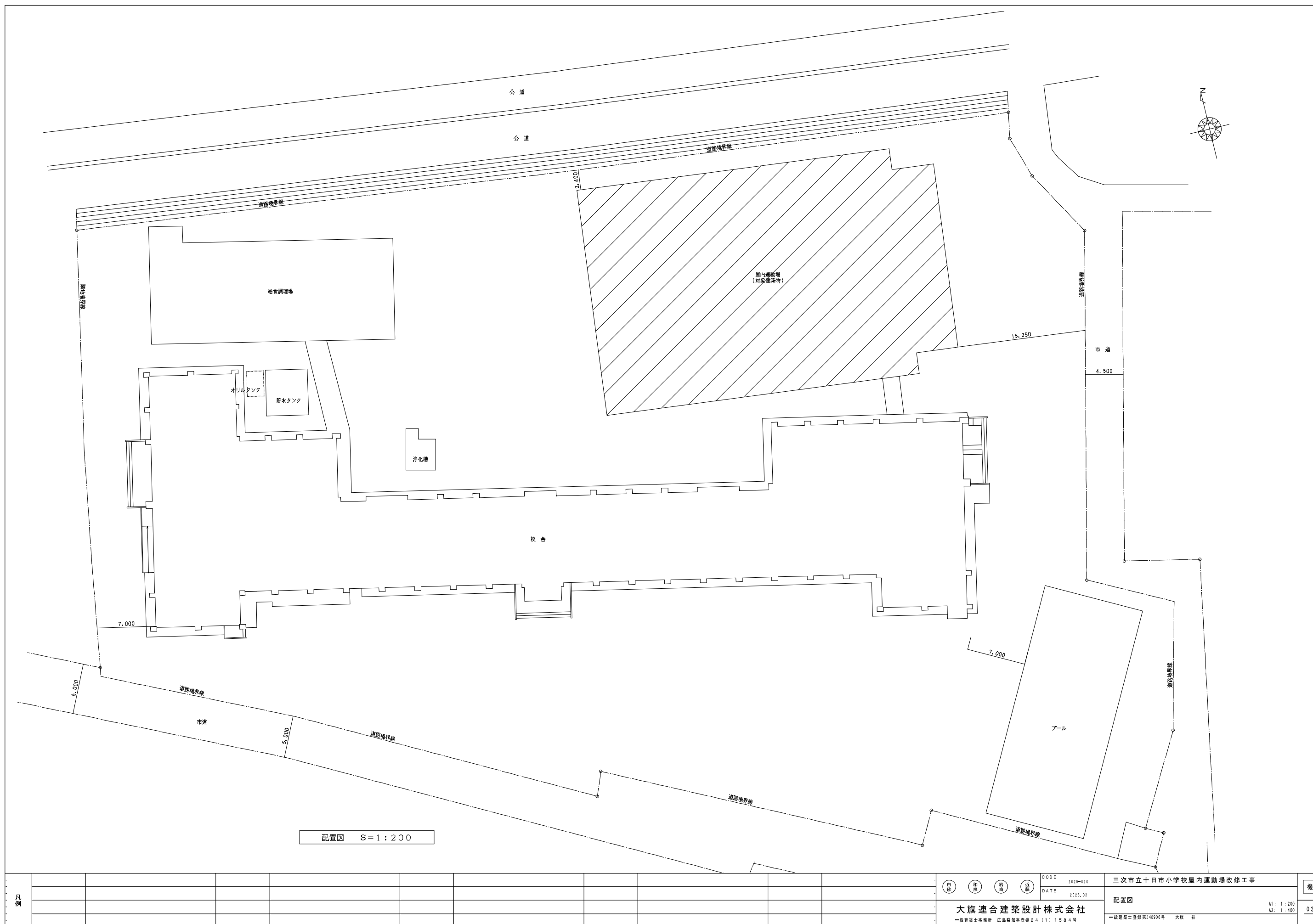
3.6. コンクリート工事

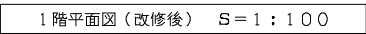
3.7. あと施工アンカー

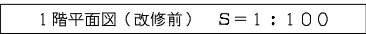
3.8. 制震施工

設備機器の固定は、次に示す設計用地耐力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の軽量の機器については、設備機器の製造者の指定する方法で現実に行えばよいものとする。
1) 設計用地耐力地力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽には有効質量)に、地域係数(・ 1.0 ※ 0.9 ・ 0.8)と、次に示す設計用地耐力強度を乗じたとしたものとする。

設置場所	機器種別	重要機器一般機器	重要機器一般機器
上層階	機器	2.0	1.5
中層階	機器	2.0	2.0
地下1階	機器	2	



[illegible]

[illegible]

